

イラストと写真で見る南笹野台の減災活動

この資料をご理解頂き、『互近助防災』活動に一人でも多くの方の参加をお願いします



被災時この町で人的被害、焼失家屋ゼロを達成！

『**互近助防災**』は、被災直後は、**隣近所で助け合い**
「**人的被害ゼロ**」「**焼失家屋ゼロ**」をスローガンに
掲げて活動する、**南笹野台の独自の標語**です。・

目次

- 0. 南笹野台の減災活動の歴史・・・
- 1. 南笹野台はどんな町：どんな災害リスク
- 2. その前に：命を守る自助を！！・・・
- 3. 南笹野台の減災活動紹介・・・
- 4. 毎年5月全戸に減災アンケート実施・・・
- 5. 安否確認・・・
- 6. 消火活動 6-1. スタンドパイプ・・・
- 7. 救出活動・・・
- 8. 救護活動・・・
- 9. いっとき避難場所では何をするの？・・・
- 10. 子ども110番・・・
- 11. 一時避難生活エリア・・・
- 12. 非常時トイレ：皆さん準備出来ていますか？
- 13. 減災機器の紹介 13-1. トランシーバ/ハンドマイク
- 14. 南笹野台の減災(安否確認)訓練の流れ・・・

0.南笹野台の減災活動の歴史

1. 2014年～ 勉強会「減災WG」を毎月で、21回開催:当初9人→16人
 - 「南の災害リスク?」「自助?共助?」「自主防災?」「減災訓練?」
2. 2015年5月～年1回の全戸「減災アンケート」を開始→毎年継続実施(回収率85%)
3. 2015年10月～ 減災センターの組織化:当初35人→現在56人
 - 「安否確認情報隊」「通信隊」「消火隊」「救出隊」「救護隊」「いっとき統括隊」
4. 2016年～ 減災(安否確認)訓練:7年連続実施中
 - 「安否確認20分で完了」「実働隊訓練と並行」「毎年レベルアップ」「参加率80%」
5. 2019年7月 TV朝日の「スーパ-Jチャンネル」で南の減災訓練が放映
 - 「自治会加入率98%」「被災後1時間で何をするか?」「安否確認20分」「絆の街」
6. 2021年11月 近隣の「つくし保育園」と『防災連携共同活動』を開始
 - 「AED共用」「マンホールトイレ共用」「一時避難生活エリア提供」「子ども110番賛同」
7. 2023年9月 ぼうさい国体の「在京6局アナ・シンポ」で南の「互近助防災」を紹介
 - 10月1日 NHK「明日を守るナビ」でTV放映

1.南笹野台はどんな町:どんな災害リスクがあるか？

1985年以降に出来た旭区の高台の新興戸建住宅地（戸数200戸）

津波、洪水、地滑りなし
家屋全壊は無い??



『地震対策に集中』
(木造密集地区は無い)

・ ・ ・ 怪我、圧迫死、
火災が3大リスク



坂のある戸建て住宅街



自治会 会館



2カ所の防災倉庫



2カ所のいっとき避難場所



2組：南公園

2.その前に:「命を守る自助」を!!

(1)命を守り・助けるのは?

①自助=70%、②共助=20%、③公助=10% 南では自助と共助の隙間を「**互近助**」で!!

自助で「命を守って」にその「**互近助防災活動**」です

(2)「命を守る」自助4セット 南皆さん、先ずはコレを点検しよう

①耐震家屋に住む:1981年基準 南の家はコレ:全壊は無い?

但し「盛り土地盤」の家は、揺れが大きくなる? ②は必須!!

②家具を固定する:震度7では家具が飛び交う 家具の下敷き死の原因

寝室とリビングの家具は固定しよう。 「自分の命を守る」

③火事を出さない 「感震ブレーカ」で通電火災の抑止:感震ブレーカが最強武器

④頭を守る「ヘルメット」と「助けて～」を遠くに届ける「ホイッスル」は防災必需品

3. 『互近助防災』＝南笹野台の減災活動の紹介

安否確認



消火活動



救出活動



救護活動



4・毎年5月に下記アンケートを全戸対象に実施：回収率は90%以上

減災安心世帯カード

南笹野自治会

2023年度 アンケート 1/2

★記入する前に読んでください

*このカードは災害時に、班内安否確認参考情報として使用する目的に限定して収集します。

*カードの記入は強制ではなく、本人の意思で必要と思う範囲で記入してください。

*このカードの収集、管理、運用は班内限定で他への公開・提供は致しません。

*毎年最新情報を収集し、前年度分は責任を持って廃棄します。

2023年 月 日

①

*本資料は、被災時避難所に入所時に参考資料として避難所にも提供します。

A 減災安心 世帯情報カードアンケート 兼 避難所入所時提出世帯カード

1.家族の情報をご記入ください

年 代

1. 80才以上

2. 70才代

3. 大人 (中学生以上)

4. 小学生

5. 未就学児

6. 乳幼児

組 班

状 況

1. 寝たまり

2. 車いす

3. 視聴覚不自由

4. 歩行困難

5. 基礎疾患あり (糖尿病、心臓、等)

氏 名

年 代

状 況

知っておいてもらいたい状況

記入例

笹野 太郎

2

2, 4

長男家族が東笹野台に住んでいる

世帯主

同居人

同居人

同居人

同居人

同居人

2. 知らせたい情報(かかりつけ医、常用薬、アレルギー、基礎疾患)は具体的に。

状況記入の方：①入通所福祉施設名()

②担当ケアマネ氏名()

3.緊急連絡先

何があった時に連絡してほしい連絡先

氏 名

続柄

電話番号 ()

氏 名

続柄

電話番号 ()

4. この情報を災害時の安否確認情報以外に緊急時 (家族不在に急病で搬送等)にも連絡先を確認する為に使用してほしいですか？どちらかに○をしてください

1. 使用してほしい

2. 使わないでほしい

①このアンケートで最新の世帯状況を手仕する

②被災(訓練)時に災害弱者宅を優先訪問する

③個人情報保護の観点から

1. 収集範囲は班内・

2. 管理・保管は班単位

3. 利用は災害時限定・

4. 最新情報取得時、旧情報は、シュレッダー廃棄

5. 廃棄事実は、自治会会報に記載し全戸に周知

④緊急連絡先情報は非常時有効情報となる・・・

減災アンケート(人、モノ、自助)

②

2023年度アンケート2/2

B. 災害時「お助け人情報」・「お助け器具」所有者に関するアンケート

被災時に、自治会内に救助(救出・救護)・消火班を臨時編成し、自治会全員参加型で『被害ゼロ』の町づくりを目指します。

その時に、様々なプロやその経験者のお力をお借りしたいと考えています。

該当する番号に○をつけてください。

2023年 月 日

確認事項①

：お助け人

1 看護士・保健師経験者

2 家庭防災員経験者

3 建設業経験者

4 電気工事経験者

5 工作得意者

6 消防士・消防団経験者

7 消火活動に協力できる人

8 救出・救護活動に協力できる人

確認事項②

：お助け器具

A ハンマー

B パール

C 油圧ジャッキ

D リヤカー

E エンジンカッター

F チェーンソー

G その他： ()

C. 減災 (防災) 意識と行動 に関するアンケート

横浜市で今後30年間に震度6以上の超大型地震が発生する確率は7.8%との発表がありました。

災害は避けられません。その時命を守るのは自分の準備と行動です。

自助でどこまで自分の命を守るか

皆さんの自助としての準備状況をアンケートし、南笹野台の現状を認識し、今後の減災活動の基礎情報 (啓蒙、研修、訓練) として共有したいと考えております。

該当項目の「保有・実施」に、「済み」あれば、○をつけてください。

「何日分」については、備蓄日数を、記入してください。

調査項目

保有・実施：○

備蓄日数

備 考

① 消火器具の保有

② 家具の固定

③ ヘルメット

④ ホイッスル

⑤ 携帯ラジオ

⑥ 懐中電灯

⑦ パール

⑧ ロープ

⑨ 地震ブレーカー

⑩ 飲料水の備蓄

⑪ 食糧の備蓄

⑫ 簡易トイレ

⑬ 簡易コンロ

・電池切れに注意してください。

・乾電池を余分に用意しておくとい良いです。*

2020年に手作り地震ブレーカーを購入した世帯は○で申請して下さい

目安：2L (リットル) ×人数分×5日分**

日分

日分

* : 乾電池だけでなく、手回し発電 (ダイナモ) と併用する手動充電タイプもあります。

** : 500ml ×4本の方が良いやすいと思います。 また空きボトルはすぐに他の用途に使えます。

長期の避難生活や、長期の断水に備えて、空きペットボトルも数本ストックしておくとい良いと思います。

お助け人情報
：何が出来る
か？

お助け機具
：何を持って
いるか？

自宅の自助
の準備状況
：どこまで
持っている
か？今後の
強化ポイント
は？

5. 安否確認

① 安否確認リスト

② 安否確認訪問

町内全戸安否確認を20分で終了

③

年 月 日

1 組 班

【班内安否確認リスト】

訓練時使用 該当：○

N.O.	世帯名	世帯人数	在宅人数	要救助・支援他、伝達事項	本日の安否確認を知っていたか	玄関先へ消火器の持出	黄色タオルの掲示
0	(例) 笹野台太郎	4	3		○	×	×
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							

単身世帯者には、訓練訪問時に対話して下さい

安否確認訪問時に「声掛け」して下さい

○計： ○計： ○計：

【災害時使用】

□要支援先 □被災者認定候補

1・救出： 軒 1、拠点避難： 世帯 人

2・救護： 軒 2・在宅被災： 世帯 人

3・消火： 軒

班情報担当者様： 年1回の「A、減災安心 世帯情報 アンケート」(各世帯記入済)を、

班長から、受け取りましたら、上表の「世帯名、世帯人数」と「要支援者情報」を事前に

班長からうけとりましたら、上表の「世帯名、世帯人数」と「要支援者情報」を事前に記入しておいて下さい。

記入後、5部コピーをして2部は自分、4部を「班長/組情報リーダー/組情報副リーダー/民生・児童委員」へ渡して下さい。(※1)

(※1：班情報担当が班長と兼務する場合は前班長に参加してもらう)

世帯情報から班内安否確認リストを作る。・・・

- ① このリストを携行して班内の安否確認を実施
- ② 優先訪問先を先行訪問
- ③ 確認結果を記入後、本部に報告する



黄色タオルを玄関に掲示

- 私の家は安全です。
- 消火器玄関前提示・・・
- 消火器持寄りに使って下さい

班長と情報担当2名が
左記リストを持って
班内全戸訪問・・・

町内の16班が同時並行
で全戸訪問して、結果
を本部に報告・・・

6. 消火活動: 消火隊は高齢化・人員不足・焼失家屋ゼロの街の協力者募集!!!

南笹野台の出火件数 : 横浜市公表の「元禄型地震」で2~3件!!

南のスタンドパイプは1台(2カ所以上の同時火災発生に対応不可!!)

■どうやって小火で消し止めるか? →

この人員増強が急務!!

①自宅の消火器で消す

消火器消火時間=15秒!!!

②次は、近隣消火器持寄り消火
で消火力アップ

: 5台以上の消火器を持ち寄ろう

③最後はスタンドパイプで消火

『助けて
~~』の
ホイッスル
は
防災必需品

これは経験と
パワーが必要
皆さんの協力を!!

南笹野台は3ステップ消火で
焼失家屋ゼロを実現しよう

近隣【消火器持寄り消火】で【焼失家屋ゼロ】を達成!!!! 202309 減災センター

消火器の使い方

1. 安全ピンをぬいて
2. ホースを火元に向ける
3. レバーを強くにぎる



複数台消火器でパワーアップ

2



小火で
消し止め

南笹野台は
『互近助
防災』で
【人的被害
ゼロ】
【焼失家屋
ゼロ】
を達成し
よう

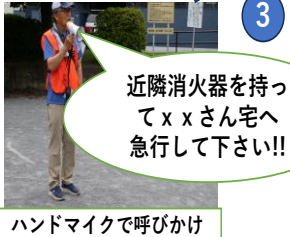
持寄り台数は5台以上を!!

玄関前提示の近隣消火器を持ち寄ろう!!
「互近助防災」で消火時間とパワー増強

- ①火事はまず自宅の消火器で消火する・
- ②ホイッスルを鳴らし、大声で火事だ!
- ③いっとき統括/情報リーダーがハンドマイクで、近隣消火器持寄りを呼び掛け
- ④複数消火器で小火で消し止め!!!!!!!!!!!!

重要

注目



南のスタンドパイプは1台のみ: 複数出火は「持寄り消火」で対応!!!!

向う3軒両隣で助け合おう!!!

南の消火:最後の切札は……

6.1 スタンドパイプ

経験と
パワー!!

ココからは、経験・訓練が必要

パイプ・ホースの搬送

ココは力仕事!!

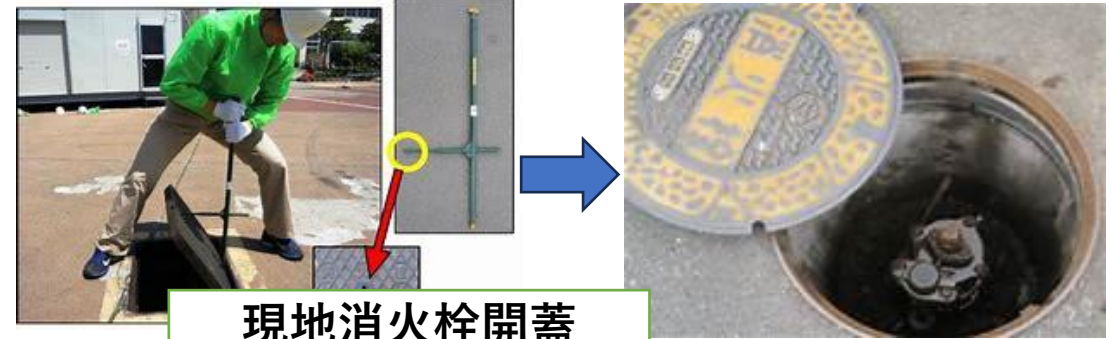
多くの
協力が必要!!



会館横スタンドパイプ収納庫



強力な放水!! 延焼させないぞ!



現地消火栓開蓋



消火栓にパイプ接続



延長ホース接続



パイプとホース接続

7. 救出活動：救出隊も要員増強要!!!

建築土木経験、工作得意、キャンプ愛好者歓迎!!!

阪神淡路の死者＝全体で6500人
1時間以内＝3800人が死亡
大部分は圧迫窒息死
でも、被災後1時間以内は
消防・警察・自衛隊は現場に來れない

どうする？

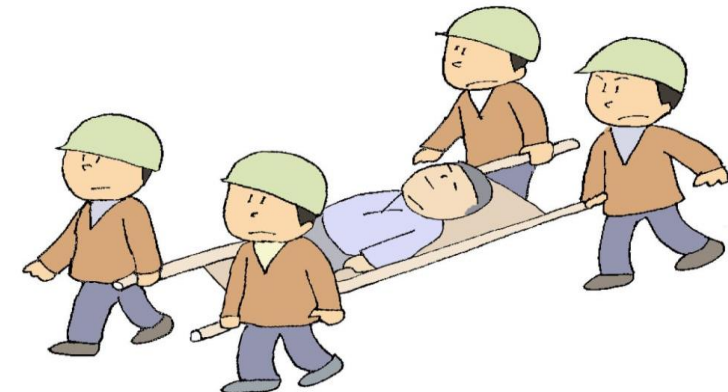
南の減災活動を『互近助防災』に特化
■被災後1時間以内に命を救う

- ①安否確認で異常の早期発見・・・
- ②トランシーバで実働隊が現場急行
- ③皆で協力して怪我人の早期救出・

怪我人
発見



下敷き怪我人は、1時間放置されると
圧迫窒息を起こし呼吸不全で死に至る■阪神淡路の実績!!!!
下敷き状態からの救出を最優先に救出活動を実施する!!!。



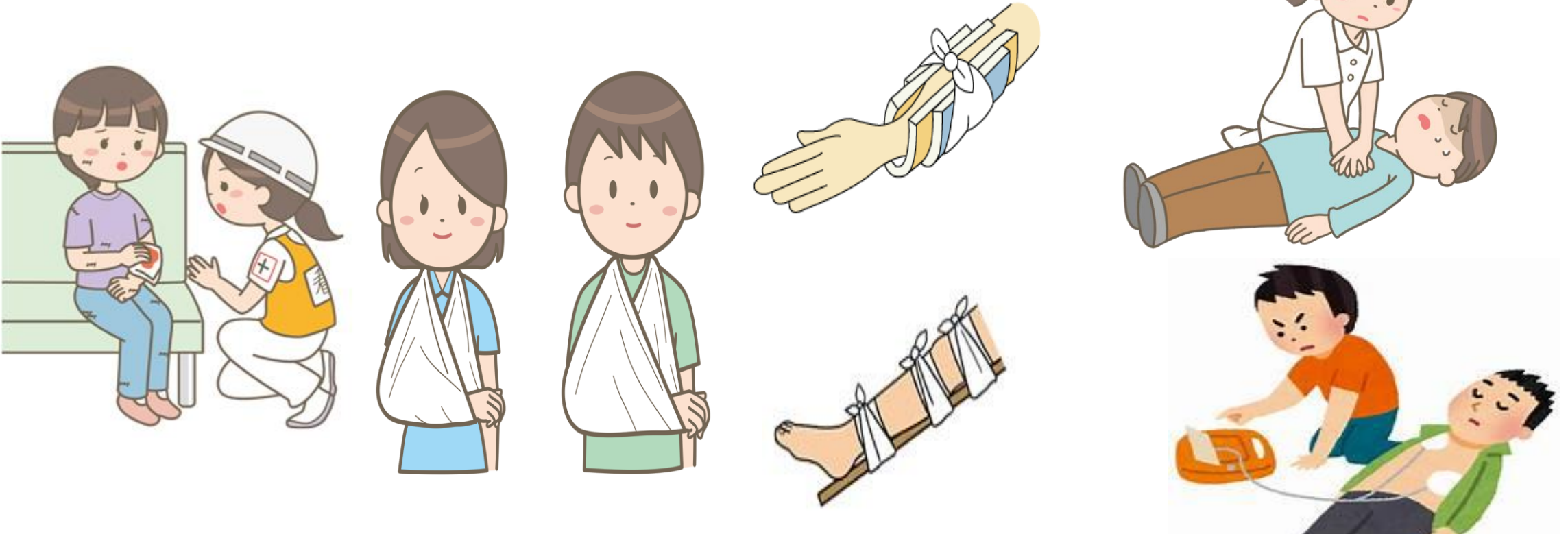
被災後1時間での救出が勝負

8. 救護活動：救護対応者が絶対的に不足➡被災時は皆で協力して「救護」しよう

1. 南の救護隊は5人：圧倒的に要員不足➡要員補充が緊急課題

➡アンケートで「看護師／保健師」＝5人、「家庭防災員」＝15人」が存在

2. 救護隊の主な活動➡この活動が「命を救う」



AEDはつくし保育園と共用

9. いっとき避難場所で何をするの？

いっとき避難場所は
互近助防災の拠点です



いっときに集まる住民達



トランシーバでリアル通信



皆さん!!
集まって
下さ～い

いっとき統括リーダー

安否確認終了後：

1. いっとき統括リーダーは所定の「いっとき避難場所」に『いっときの旗』を掲げる

2. 住民(下記の人)は「いっとき」に集結する……………

- ① 情報担当、班長……………
- ② 被災後「家に住めなくなった人」……………
- ③ 余震が怖い人……………
- ④ 状況不明で不安な人……………
- ⑤ 余力があり、災害活動をサポート出来る人

3. いっとき統括リーダーは【互近助防災】のキーマンです

- ① 集まった住民から被災状況を聞き、情報交換する
- ② センターと交信し、町内全体の被災状況を確認し
集まった住民と情報共有する
- ③ 近隣で小火を認知すると、ハンドスピーカで..
住民に消火器持寄り消火への参加を要請する
- ④ センターから要請があれば、参集住民に…
消火・救出・救護活動への参加を依頼する

10. 子ども110番：被災時保護者**帰宅困難**で「孤立する学童」を緊急預かりします!!

大地震勃発⇒大量の帰宅困難者&孤立学童発生⇒**子ども110番の家**⇒孤立学童の救済



南笹野台では、子ども110番を「被災時孤立学童を救済」する制度として運用

南笹野台の「子ども110番賛同世帯」

1組4班:内田、5班:小野、村中

7班:小林、8班:土居

2組1班:大田、大越、渡邊

2班:土屋、3班:村田

4組:稲垣、5組:番井

6班:漆原、7班:吉岡

番外:つくし保育園

202305現在の賛同世帯です
更なる賛同世帯を募集します。

緑の110番看板

黄色タオル

我が家は大丈夫
お子さんを預かります

ピンクのハンカチ

お子さんを
預かっています

不安な学童に優しく手を差し伸べよう!!

防犯対応
の子ども
110番を

災害時に
子ども
駆け込み寺
として
防災対応
に転用

県内唯一
の事例?

11.一時避難生活エリア：被災で「家に住めない」、 でも「避難所はまだ開設前」、どうしよう!!

なぜ「避難生活エリア」が必要か？

被災時、避難所＝笹野台小学校の開設➡被災後2～3日後
その間、家に住めなくなった住民に、「一時避難生活エリア」で
『生活の場』を提供します。➡①自治会館で1世帯5人収容

②つくし保育園に2世帯10人収容

そんな時にも
も
南笹野台は
困った人
に
手を差し
伸べます



ココに1世帯



ココに2世帯



寝具3世帯15人分備蓄



3世帯15人×3食×3日
(ローリングストック)

受付で4項の「世帯カード」に記入・提出
➡避難所へ誘導時に持参します



15人×3日を備蓄

12. 非常時トイレ: 皆さん、準備出来ていますか？

非常時トイレの3形態

大地震では上下水道途絶で水洗トイレが使えなくなる可能性があります。備蓄で飲食はできても水洗トイレが使えなくなると皆さんどうしますか？ **非常用トイレの準備は必須**です。

マンホールトイレ	段ボール組み立て簡易トイレ	ミニ・トイレパックセット
汚水マンホールの上に便器をセットして非常用トイレとして設営。上部をテントで覆いプライバシー確保-----。南笹野台では、非常用屋外トイレとして、マンホールトイレを設営します。	トイレ室が使えない時に、屋内で段ボールを組み立てて使う非常用トイレ。便座の上にビニール袋便器を設置。設営場所は室内の空きスペース-----	水洗トイレが使えない時に便座の上にビニールの袋をセットして排便後に凝固剤を注入して固め、ビニール袋ごと一般ごみで廃棄出来る-----。
一般的に避難所や自治会で防災活動用に設営する。数十回に1回バケツ水で汚物を流す。その為雨水タンクを併設しておくのが一般的-----	段ボール組み立てなので簡便に作れるが、覆いが無いので自宅の空きスペースに設置し家族のみでの使用に適している。一般的に.....6回に1回ビニール便器を取換える	家族・個人用の非常用トイレでは最も一般的なモノ。最終的に一般ごみとして出せるが匂い対策で消臭剤入りの凝固剤を使うべき-----。
		

マンホールトイレの保有

南笹野台は、下水道が止まる大地震でも、屋外での減災活動が出来る様に非常用マンホールトイレを2基保有しています。……………
(1基はつくし保育園所有)。
トイレの備品も1式揃えています。

各家庭でも左図の「簡易トイレ」か「トイレパック」を備蓄しましょう。



13. 減災機器の紹介

減災センター保有機器(救出隊)



発電機



ランタン



油圧
ジャッキ



椅子担架

階段搬送はコレ



ロープ



チェーンソー



二つ折り担架



折り畳みリヤカー



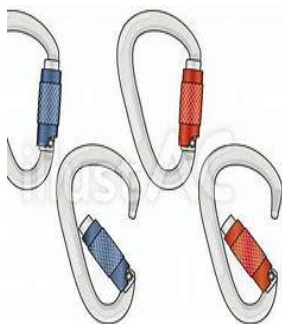
バール



お座り担架



テント/ブルーシート



カラビナ

自宅保有機器



ホイッスルは助けを求める必需品



落下物から身を守る必需品



感震
ブレーカ

火災原因の65%の通電火災への最強武器

消火器



自宅から火を
出さない:
1階2階に2台!!

13-1 トランシーバと ハンドマイク



いっとき

南は12台の
トランシーバ



消火隊



救出隊



救護隊



キー局（本部）



被災現場

火災

怪我人

通信途絶時
でもリアル
通信が可能
な
トランシーバ
をフル活用



本日10時から訓練
を開始しま～す。
参加して下さい。

訓練日の9時に訓練予告



10時

会長による訓練開始宣言

訓練！訓練！
只今から訓練を
開始します。



皆さん！
集まって下さい

XXさん宅で
小火発生!!
近隣消火器を持って
急行して下さい

南はハンドマイク
を6台保有

ハンドマイクによる周知・依頼の4類型

1 4 . 南笹野台の減災(安否確認)訓練の流れ

10 : 00 震度6強の地震発生

住 民 は 自 宅 と 身 の 安 全 を 確 保

10 : 15

減災センター立上げ
(消火隊)

安否確認訓練

16班で同時並行で全戸確認

減災センター立上げ
(救出・救護隊)

10 : 20 1組A宅で火災発生

いっとき避難場所集結訓練

10 : 25 2組B宅怪我人発生

